



大阪暁明館 だより

2015.10
autumn

大阪暁明館病院 基本理念

大阪暁明館病院は、キリスト教精神に基づく全人的医療を通して、地域住民が心の絆を実感できる病院を目指します。

我々は、

職員行動指針

1. 最良の設備、環境を整え、安全で質の高い医療を提供します。
2. 愛情と尊敬をもって接し、何が最良かを一緒に考え、温かい医療を実践します。
3. 地域の医療、介護を行う方々と連携し、地域の皆様の健康と生活を守ります。
4. 医療を通じて自己研鑽し、健全な病院運営を行い、社会貢献を果たします。

「大阪陽子線クリニック」

がんの新しい治療施設 平成29年夏オープン（予定）！

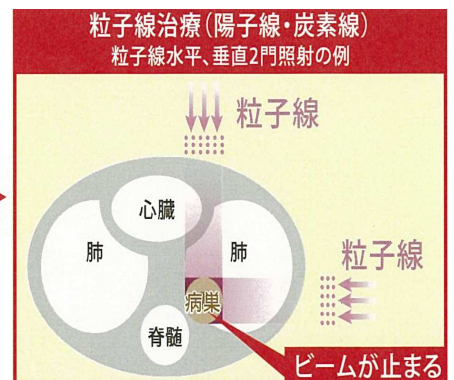
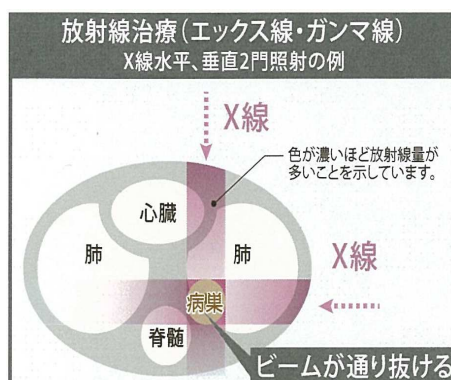
平成29年夏、大阪市此花区春日出中の旧大阪暁明館病院跡地に「大阪陽子線クリニック」がオープンします。大阪陽子線クリニックは、大阪暁明館病院の母体である医療法人伯鳳会が運営する、粒子線（陽子線）を使った最新のがん治療施設です。

副作用の少ないがん治療

がん治療の1つに放射線による治療（エックス線・ガンマ線）がありますが、これまでは、がん病巣に届くころには線量が弱まり、そのままがん病巣を通り抜けてしまいました。しかし粒子線（陽子線）は、ある深さで最も強い線量となり、その後、急激に弱まって止まるという特性があります。そのため、ビームの深さを調節することによりがん病巣に集中的に照射することができ、がん病巣の周りの正常細胞への負担を抑え、副作用の少ない治療が可能となるのです。今回導入する装置は、国内粒子線

治療患者の約80%の方が治療を受けている最新の装置で、専門施設で実地研修を受けた高い技術を持ったスタッフが治療を行います。

詳細については今後、随時お知らせ致します。





受けていますか?子宮がん検診

産婦人科部長 吉田 昭三

悪性腫瘍、いわゆる「がん」は1980年代以降わが国の死因の1位を占め、今や国民の2人に1人が何らかのがんに罹患する時代になっています。がんの治療成績は時代の変化とともに向上していますが、診断された時に進んだ状態(進行がん)で見つかった場合の治療成績は依然として芳しいものではありません。要は「いかに初期の段階で見つけるか」が大切な命や生活を守る上で重要で、そのためにあるのが「がん検診」です。全ての「がん」が検診で見つかるわけではありませんが、子宮がんは検診が非常に有効な種類のがんで、早期発見に欠かせないものです。

子宮がん検診について

子宮がんには子宮の入り口近くに見える「子宮頸がん」と子宮の中の方にある子宮内膜にできる「子宮体がん」があり、一般に広く「子宮がん検診」と呼ばれるものは子宮頸がん検診を指します。子宮頸がんはウイルス(ヒトパピローマウイルス)の感染が原因とされ、性交渉の経験があれば誰でもこのウイルスに感染する可能性があります。ヒトパピローマウイルスの一部は子宮頸部の上皮(表面)に持続感染して細胞を変化させ(異形成:いけいせい≒前がん状態)、さらに時間が経てば子宮頸がんを発症します。性交渉等でヒトパピローマウイルスに感染しても無症状であり、初期の段階である「細胞の変化」が生じてても何の自覚症状も出ません。ただし、この初期の段階で病気を見つけることができれば、子宮を摘出するような事なく治療できます。「子宮がん検診」は、病気が進む前の初期段階で見つけることを目的としています。

検診の実際

子宮頸がん検診は綿棒や柔らかいブラシなどを用いて子宮の入り口付近をこすり、表面の細胞を採取します。通常、ほとんど痛みはなく、短時間で終わ

ります。採取した細胞を顕微鏡で見て診断するのですが「正常」と「がん細胞」だけでなく、それ以外にも様々なレベルの異常をもった細胞(異型細胞)が検出される事があります。「正常」以外の場合には精密検査が必要であり、生検による組織検査を行います。大阪市が平成24年度に行った子宮がん検診事業では、検診を受けた人のうち要精密検査と診断されたのは全体の3.1%(約30人に1人)でした。精密検査を受けた方のうち7.3%が子宮頸がん(あるいはその疑い)と診断されています。以前は40～50歳代の方がかかる病気でしたが、最近では20～30歳代で見つかるケースが増えてきており、わが国では毎年約1万5000人が新たに子宮頸がんと診断されています。

(参考：大阪市ホームページ：

<http://www.city.osaka.lg.jp/kenko/page/0000018399.html>)

ヒトパピローマウイルスって?

子宮頸がんの大部分は上に述べたとおり大半がヒトパピローマウイルスの感染により起こります。このウイルスはどこにでもいるようなウイルスで、細かくタイプを調べると100種類以上に及びますが、子宮頸がんの発症にかかわるのはこのうち10数種類のハイリスク型と呼ばれるものです。このハイリスク型の一部の感染を予防するワクチンが開発され、世界中で接種されて効果を挙げていますが、日本では接種後に体中が痛くなるなどの副反応の症状を訴える人が比較的多く出たため、厚生労働省は平成26年6月をもって「接種の積極的勧奨」を中止しています(接種自体が禁止されたわけではなく、これは今後あらためて見直される方向にあります)。ただ、ワクチンを接種したから絶対に大丈夫というわけではなく、あくまで病気の早期発見には検診が最も有効です。大切な命を、大事な子宮を守るためにも、全ての女性は必ず子宮がん検診を受けましょう。

第18回永眠者追悼祈念礼拝開催

9月26日(土)午後2時から、当院でこの1年間に亡くなられた方々を慰める第18回永眠者追悼祈念礼拝を、1階インマヌエルホールで開催しました。古城理事長を始め、坂院長、北川看護部長代行、当院スタッフと、亡くなられた患者様ご家族など約40名が参加。大阪暁明館病院伝道所の岸本チャプレンの司式のもと、この日の為に結成された、当院職員有志による大阪暁明館病院聖歌隊が賛美歌を斉唱しました。

追悼の辞では、坂院長が「礼拝を通していのちの源である神の平安が天上にある人々の上に、そして地上にあるご遺族の皆さまの上にありますように」と述べ、滞りなく終了しました。



職員有志による
大阪暁明館病院聖歌隊



岸本光子チャプレン

お近くの「かかりつけ医」ご紹介

野田診療所

内科・小児科・消化器科・呼吸器科・循環器科・放射線科・リハビリ科

「診療所は地域の皆さまの最も身近な医療機関の一つです。この利点を活用して頂き、気軽に受診して頂けるような診療所を目指しています」

在宅 病気やけがなどで通院困難な方を対象に自宅へ往診致します。24時間携帯電話で対応。

健診 特定健診、組合員健診、事業所健診など

診療時間	月	火	水	木	金	土
9時00分～12時00分	●	●	●	●	●	●
18時00分～20時00分	●	△	/	●	●	/

※ 日曜・祝日休診 ※ △：皮膚科

〒553-0005 大阪市福島区野田3-13-44
☎06-6461-6770 <http://www.osaka-fukushima.coop/>



所長 小浜譲次



「拠点病院との地域連携シンポジウム」開催

9月5日(土)午後2時から、大阪市此花区の梅香殿大ホールにて、「拠点病院との地域連携シンポジウム」を開催しました。此花区における地域包括ケアシステムの構築を目的に、此花区医師会、此花区訪問看護連絡会、此花区役所等と連携して開催する初のシンポジウムで、此花区内の開業医、医療・介護従事者など133名が参加しました。当院からは坂院長をはじめ、北川看護部長代行など40名が参加。北川看護部長代行が「大阪暁明館病院看護部の役割」と題して講演を行いました。

続くパネルディスカッションでは、此花区医師会の石見副会長を座長に、講演者と参加者として活発な質疑応答が行われるなど盛況のうちに終了しました。



挨拶をする
坂院長



シンポジウムの様子

新入職医師紹介

心臓血管病センター長

こまつ せい

小松 誠

■出身大学

九州大学医学部卒業

■専門

循環器一般、循環器画像診断
(心臓 CT・冠動脈/大動脈内視鏡)

■資格

医学博士
日本循環器学会専門医
日本高血圧学会指導医・専門医
日本心臓血管内視鏡学会専門医・
指導医・評議員
日本内科学会認定医・指導医など



「今の医学はわからないことだらけです。皆さんの病気の中からその問題点をみつけ、新しい医学を作っていくよう努力していきます。循環器内科はチーム医療で皆さまをお守りします。高血圧、脂質異常症といった生活習慣病から、狭心症・心筋梗塞、不整脈、心不全など幅広い分野です。より多くの皆さまのご健康のお役に立てばと思います」

介護保険教室開催!

8月11日(火)午後2時より、当院11階会議室で「介護保険教室」を開催しました。今回のテーマは、「高齢者施設、住宅の選び方」。おとしよりすこやかセンター西部館の社会福祉士、山田暢秀さんが、高齢者施設の現状などについて詳しくご説明致しました。参加された皆さまは熱心に講演を聞いてくださり、これからの人生の過ごし方などについて考える一つのきっかけになったことと思います。



大阪暁明館だより

平成27年10月20日発行



社会福祉法人 大阪暁明館
大阪暁明館病院

〒554-0012 大阪市此花区西九条 5-4-8
電話(06)6462-0261(代表)
FAX(06)6462-0362
<http://www.gyoumeikan.or.jp>